

申命記 13回
「偶像礼拝の禁止」
申 4 : 15~24

1. はじめに

(1) 申命記のアウトライン (宗主権契約の形式)

- ①第1の説教：歴史の回顧 (1 : 5~4 : 43)
- ②第2の説教：契約に基づく義務 (4 : 44~26 : 19)
- ③第3の説教：祝福と呪いの宣言 (27 : 1~29 : 1)
- ④第4の説教：契約条項のまとめ (29 : 2~30 : 20)

(2) イスラエルの民は、これからカナンの地に入ろうとしている。

- ①彼らは、正しい世界観と人生観を持つ必要があった。
- ②3章で、カナンへの地征服の準備が始まった。

(3) 4章のアウトライン

- ①律法の目的 (4 : 1~8)
- ②ホレブでの体験の目的 (4 : 9~14)
- ③偶像礼拝の禁止 (4 : 15~24)
- ④離散の預言 (4 : 25~31)
- ⑤【主】だけが神 (4 : 32~40)
- ⑥逃れの町 (4 : 41~43)

2. メッセージのアウトライン

- (1) 偶像礼拝禁止の理由 (4 : 15)
- (2) 偶像礼拝の実例 (4 : 16~19)
- (3) イスラエルの民の特権 (4 : 20)
- (4) 警告の言葉 (4 : 21~24)

3. 結論：イスラエルの民の特権

偶像礼拝の禁止について学ぶ

I. 偶像礼拝禁止の理由 (4 : 15)

1. 15節

Deu 4:15 あなたがたは自分自身に十分に気をつけなさい。【主】がホレブで火の中からあなたがたに語られた日に、あなたがたは何の姿も見なかったからである。

- (1) ここでモーセは、ホレブでの体験を思い出させている。
 - ①彼らは、神の姿を見なかった。
 - ②見たのは、シャカイナグローリーだけであった。
 - *火の柱とそこから出て来る声
 - ③シャカイナグローリーは、イスラエルの民に畏怖の念を植え付けた。
 - ④イスラエルの民は、神は霊であることを学んだ。

- (2) ホレブでの体験の適用
 - ①神は被造世界の一部ではない。
 - ②それゆえ、被造世界のものを用いて神の像を造ってはならない。
 - ③偶像を造るのは、人間が設けた制限の中に神を閉じ込めることである。
 - ④それは、神の本質(偏在や全能)を制限し辱める行為である。

- (3) 「あなたがたは自分自身に十分に気をつけなさい」
 - ①イスラエルの民は、偶像を作らないように自分を見張る必要があった。
 - ②古代中近東では、偶像礼拝が盛んに行われていた。
 - ③カナン地の地に入ると、彼らは偶像礼拝の影響をもろに受けることになる。

II. 偶像礼拝の実例(4:16~19)

1. 16節

Deu 4:16 墮落して自分たちのために、どのような形の彫像も造らないようにしなさい。男の形も女の形も。

- (1) 「墮落して自分たちのために、どのような形の彫像も造らないように」
 - ①人は、真の神から離れると墮落して行く。
 - ②墮落すると、自分のために偶像を造るようになる。

- (2) 「どのような形の彫像も」
 - ①木であれ、金属であれ、石であれ、彫像を造ることは禁じられた。
 - ②これは、芸術活動を禁止しているわけではない。
 - (ILL) 人形を否定する教え

- (3) 「男の形も女の形も」
 - ①人間の形をした偶像を造ってはならない。

②申4:3

Deu 4:3 あなたがたは、【主】がバアル・ペオルのことでなされたことを自分の目を見た。バアル・ペオルに従った者すべてを、あなたの神、【主】はあなたのうちから根絶やしにされたのである。

*バアル・ペオルは、豊穡の女神である。

*この事件で、イスラエルの民はバアル神に初めて出会った。

③カナンの地でのアシュタロテ

④ギリシア・ローマ世界のヴィーナス

⑤ギリシア神話には、さまざまな男神（おがみ）と女神が登場する。

2. 17～18節

Deu 4:17 地上のどのような動物の形も、空を飛ぶ、翼のあるどのような鳥の形も。

Deu 4:18 地面を這うどのようなものの形も、地の下の水の中にいるどのような魚の形も。

(1) これは、エジプトでの偶像礼拝を意識した禁止令である。

①哺乳類では、雄牛、雌牛、羊、ヤギ、獅子、犬、猿、猫の偶像があった。

②鳥類では、トキ、鶴、鷹の偶像があった。

③爬虫類や両生類では、ワニ、蛇、カエル、ハエ、カブトムシの偶像があった。

⑤魚類では、ナイル川に生息する魚の偶像があった。

*ナイル川まで神格化された。

3. 19節

Deu 4:19 また、天に目を上げて、太陽、月、星など天の万象を見るとき、惑わされてそれらを拝み、それらに仕えることのないようにしなさい。それらのものは、あなたの神、【主】が天下のあらゆる民に分け与えられたものである。

(1) これもエジプトでの偶像礼拝を意識した禁止令である。

①天体を偶像化してはならない。

②エジプトでは、太陽神は「ラー」である。

(2) これから入って行こうとしているカナンの地でも、天体礼拝が行われていた。

①エリコは、月神に捧げられた町であった。

(3) 天体は、【主】が地上のすべての民に分け与えたものである。

①それゆえ、ひとつの民が、独占すべきものではない。

②また、礼拝の対象とすべきものではない。

Ⅲ. イスラエルの民の特権(4:20)

1. 20節

Deu 4:20 【主】はあなたがたを取って、鉄の炉から、すなわちエジプトから導き出し、今日のようにゆずりの民とされたのである。

(1) 偶像礼拝を避けるべき理由

- ①【主】はイスラエルの民をエジプトから導き出された。
- ②つまり、イスラエルの民は偶像礼拝の地から解放されたということである。
- ③申命記では、「エジプトから導き出された」という表現が約20回出て来る。
- ④イスラエルの民は、「鉄の炉から」導き出されたのである。
 - *これは、奴隷状態を描写する比喩的表現である。
 - *奴隷状態は、鉄の炉の中で精錬されるような厳しさであった。
 - *この言葉は、当時エジプトに鉄器があったことを示唆している。

(2) 訳文の比較

- 「今日のようにゆずりの民とされた」(新改訳2017)
- 「今日のように御自分の嗣業の民とされた」(新共同訳)
- 「自分の所有の民とされた。きょう、見るとおりである」(口語訳)
- 「特別な国民として宝物のように大切に守ってくださる」(リビングバイブル)

(3) イスラエルは、地上で特別な民とされた。

①詩33:12

Psa 33:12 幸いなことよ／【主】を自らの神とする国は。／神がご自分のゆずりとして選ばれた民は。

Ⅳ. 警告の言葉(4:21~24)

1. 21~22節

Deu 4:21 しかし【主】は、あなたがたのゆえに私に向かって怒り、私がヨルダン川を渡ることも、またあなたの神、【主】があなたにゆずりの地として与える、良い地に入ることもないと誓われた。

Deu 4:22 まことに私はこの地で死のうとしている。私はヨルダン川を渡らない。しかし、あなたがたは渡って、あの良い地を所有しようとしている。

(1) 再びモーセは、自分がカナンの地に入れないことを民に伝える。

- ①神は、モーセの不信仰を怒られた。
- ②それゆえ、良い地に入ることができなくなった。

(2) 自分は、良い地において民を導くことができない。

- ①それゆえ、偶像礼拝に陥らないように十分注意する必要がある。
- ②もし墮落するなら、【主】ご自身が裁きをもって民を矯正される。
- ③これは、遺言のような言葉である。

2. 23節

Deu 4:23 気をつけて、あなたがたの神、【主】があなたがたと結ばれた契約を忘れることのないように、またあなたの神、【主】の命令に背いて、いかなる形の彫像も造ることがないようにしなさい。

(1) 注意すべき2つのこと

- ①【主】との契約を忘れることのないように。
*シャカイナグローリーに囲まれながら【主】と結んだシナイ契約である。
- ②いかなる形の彫像も造ることがないように。
*これは、【主】の命令に背くことである。

3. 24節

Deu 4:24 あなたの神、【主】は焼き尽くす火、ねたみの神である。

(1) 「【主】は焼き尽くす火」

- ①【主】は、墮落した民を炉で精錬される。
- ②その目的は、民の中から「金かす」を取り除くことにある。
- ③ガラ6:7

Gal 6:7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。

(2) 「ねたみの神である」

- ①通常「ねたみ」という言葉は、否定的な意味で使われる。
- ②ここでは、良い意味で使われている。
- ③ご自分の栄光を、誰とも分かち合わないという意味である。
- ④イザ42:8

Isa 42:8 わたしは【主】、これがわたしの名。／わたしは、わたしの栄光をほかの者に、／わたしの栄誉を、刻んだ像どもに与えはしない。

結論：イスラエルの民の特権

1. イスラエルの民に関する描写

(1) 出4:22

Exo 4:22 そのとき、あなたはファラオに言わなければならない。／【主】はこう言われる。
『イスラエルはわたしの子、わたしの長子である。』

(2) 申 7 : 6

Deu 7:6 あなたは、あなたの神、【主】の聖なる民だからである。あなたの神、【主】は地の面のあらゆる民の中からあなたを選んで、ご自分の宝の民とされた。

(3) 申 32 : 9

Deu 32:9 主の分はその民であって、ヤコブはその定められた嗣業である。(口語訳)

(4) 詩 100 : 3

Psa 100:3 知れ。【主】こそ神。／主が 私たちを造られた。／私たちは主のもの 主の民 その牧場の羊。

(5) 詩 89 : 18

Psa 89:18 私たちの盾は【主】のもの／私たちの王は イスラエルの聖なる方のもの。

(6) イザ 1 : 2

Isa 1:2 天よ、聞け。地も耳を傾けよ。／【主】が語られるからだ。／「子どもたちはわたしが育てて、大きくした。／しかし、彼らはわたしに背いた。」

(7) エレ 2 : 3

Jer 2:3 イスラエルは【主】の聖なるもの、／その収穫の初穂であった。／これを食らう者はだれでも罰を受け、／わざわいを被った。／——【主】のことは——

2. 異邦人信者に関する描写

(1) エペ 3 : 6

Eph 3:6 それは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人も共同の相続人になり、ともに同じからだに連なって、ともに約束にあずかる者になるということです。

(2) 奥義の内容

- ①異邦人信者は、キリストにあって共同の相続人となった。
- ②異邦人信者は、オリーブの幹に接ぎ木された野生種の枝である。
- ③信仰のあるイスラエルと信仰のある異邦人が、ひとつにされる。

(3) 異邦人信者にとっても、偶像礼拝は忌むべきものである。